磐城毎日

社長 大和田與兵衛
發行所 福島縣平市15丁目12番地
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人 遠藤孝倫
電話(平)一二一〇番
定價1ヶ月50円 1部2円
【夕刊・月曜休刊】

投稿歡迎

初の會議所選擧本決り
十七日に選擧告示す

平商工會議所では十六日午前十一時より五丁目釜屋電機部二階で役員會を開催し商工會議所法によつて新らたに制定しこの程縣當局の認可を受けた定款並に議員選擧規則の報告及説明と議員選擧について協議を行つた結果選擧長は伊藤專務理事とし次の如き日程で行う事に正式決定した、尚立候補者が定員の三十名を超えない場合は選擧規則第二十條によつて投票を行はず選擧長は選擧立會人と共に議員候補者の資格を審査して當選人を定める事となつている

△一月十七日選擧期日の告示

△一月二十六日選擧人名簿閲覽の告示

△一月二十九日より二月二日まで選擧人名簿の閲覽

△異議申立に對する決定期日は申立の日から三日以内

△二月六日選擧人名簿の確定、議員立候補者届出での締め切り並に立候補者の告示

△二月十三日投票並に開票當選人の告知

會議所では右の決定に基き十七日次の通り告示を行つた

選擧告示

平商工會議所議員選擧に關する規則第十條に依り議員の選擧を行う其選擧の場所投票の時間及議員數は次の通りである

昭和二十六年一月十七日

選擧長事務局長伊藤秀吉

一、選擧の場所平商工會議所會議室

一、投票時間二月十三日午前九時より午後四時まで

一、議員數三十名

平市の臨時市議會
評價員選任その他議決

平市では十七日午前十時より議事堂に於て臨時急施議會を開催、次の三案件を滿場一致可決した

一、昭和二十五年度平市歳出豫算費目更正の件

二、磐城共立病院組合議會議員選擧の件

三、固定資産評價員選任について同意を求めるの件

第一號議案は市內一丁目から六丁目に至る道路の補修費として四十萬圓支出したのを負擔金補助及交付金として支出する事に費目を變更したもの、第二號議案は共立病院組合議員は平市が二名增員する事に決定したので酒井保、木村淳の兩市議を選出、第三號議案は去る十二月の定例議會で固定資産評價員を選任する事を議決され市當局で人選中の處湯本町柏木諄氏を選任する事となつたので議會の同意を求めたものである

平商工會議所議員選擧に關する規則 (2)

第三章 選擧

第十條 通常選擧の期日は少くとも二十日前に選擧の場所投票の時間選擧する議員數と共に告示する

第十一條 通常選擧は、選擧人名簿に登載せられた選擧人がその有する選擧權數により、單記無記名投票を以てこれを行う

第十二條 通常選擧長には本會議所の事務局長がこれに當り選擧に關する事務を擔任する

事務局長に事故あるときは會頭の指名した者がこれを代行する

第十三條 選擧長は、選擧人名簿に登載せられたものの中か二人乃至四人の選擧立會人を選任する

第十四條 議員候補者にならうとするものは選擧の期日七日前までにその旨を選擧長に屆け出なければならない

前項の屆出を受理したときは、選擧長は速かにその氏名又は名稱を告示する

第十五條 選擧人は、選擧の當日自から選擧場に至り選擧人名簿の對照を經て、所定の投票用紙に議員候補者の氏名又は名稱を記載して投票しなければならない

第十六條 止むを得ない理由があるときには選擧人名簿に登載せられた他の選擧人をして代理投票させることが出來る

前項の代理人はその資格を證する書面を選擧長に示さなければならない

第十七條 開票は、投票の當日又はその翌日これを行ふ

選擧人は選擧場において開票を參觀することが出來る

第十八條 投票の効力は選擧立會人の意見を聞き選擧長がこれを決定する左の投票はこれを無効とする

一、正規の用紙を用いないもの

二、議員候補者でない者の氏名又は名稱を記載したもの

三、一投票中に二人以上の氏名又は名稱を記載したもの

四、議員候補者の氏名又は名稱の外他事を記載したもの

但し職業身分住所又は敬稱の類を記入したものはこの限りでない

五、議員候補者の何人を記載したかを確認しがたいもの

第十九條 有効投票の多數を得た順位によつて當選人を定める

當選人を定めるに當り得票數が同じであるときは選擧長は抽籤して之を定める

第二十條 議員候補者の屆出期日までに議員候補者の屆出數三十人を超えないときは投票を行はない

前項の場合は選擧長は選擧立會人と共に議員候補者の資格を審査し當選人を定める

社會黨常磐地區
選擧對策を協議

社會黨常磐地區協議會では十四日午前十時より勞働會館に於て擴大委員會を開催參院對策を協議田中利勝氏を押す事に決定ついで來るべき縣議についても同黨協議會より代表三名常磐炭礦勞組長現縣議渡邊勝治氏日礦會長現縣議田畑金光氏東部炭勞委員長大河原一次氏を送る事に決定を見たなお地盤協定は後日に殘し午後四時散開

湯本の娘殺し事件
捜査本部を設置す

昨報=湯本町上湯長谷常磐炭礦磐崎礦炊事婦松本ヨシ子(三)さんの殺人事件は地區署長以下全力をあげて捜査を開始本田縣刑事部長、堀江縣鑑識部長の顏も現場に見え更に東北大學村上博士ら三名は檢證死体解ぼうのため十七日午前十一時三分着列車にて來平地檢支部からは高橋上席檢事外數名も新に設けられた常磐炭礦西風荘の捜査本部え向つた絞殺された現場は杉の大木が点々として居る間に藪が多く殘雪も見られ一種凄慘の趣を呈して居る、ヨシ子さんは當日二番方で十一時半出ており死体の顏の上にマフラがかゝり紙屑婦人公論其他雜誌等が散亂上衣外套がなくなつてゐる、同女は教會に通ふ程の信者で聖書なども現場に殘されて居り文學好きの女性でまた性格が明確な上意志表示もはつきりして居る點抵抗の形跡もあまり見られないので捜査本部では犯人は顏見知りの者で近くに潜伏して居るものとにらみ解決も時間の問題の模樣で自信の程が窺われる

常磐地區の勞組戰線統一を協議

十六日常磐地區各勞組炭勞電産、日礦、日教、日水國鐵等代表二十數名は炭勞會館に第三回戰線統一懇談會を開き討論の結果地域の特異を生かして戰線統一する旨申合せた

前科者内郷署で擧ぐ

安達郡小濱町生れ無職伊藤由松(三二)は十六日午後四時五分頃内郷町白水地内に於いて内郷町署員に捕つた、伊藤は住居不定の上窃盗前科三犯のしたたか者で去月六日湯本町湯本字高倉九〇無職酒井文雄さんを言葉巧みにだまし約二十分ばかり闇物資の話などをした、後直ぐ返すからと稱して中古オーバ時價三千五百圓を騙取し指名手配中であつた伊藤の身柄は直に湯本署え送致

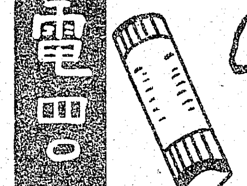
今日の天氣

十七日北西の風良い天氣

十八日北よりの風晴で一時曇るが良くなりましよう

十九日天氣良い見込ですがおそくなつて雲が擴がりましよう

海上風波が立ちますが大体おだやかでしよう


小柳
飲食とお酒の店
平本局前 電五二八

くすり
今日も元気で

電四〇 平四
関内藥局

冬の註文洋服は……
親切叮嚀安値の……
渡邊洋服店へ
平市二丁目 電話九五七番

皆樣の魚店
磐城名産 鰹節 鹽辛
丸市屋
平市四丁目 電話二一三番

季節の寵兒!!!
文化木炭(厚生大臣推賞)
▼▼火持よく ▼▼臭氣なく
▼▼危險のない ▼▼經濟的な
木炭の敵? 加工燃料!
▼▼コタツ、火鉢用に最適
▼▼卸小賣、配達迅速
▼各種燃料取扱
〔製造販賣〕
平市正月町六六(電話一二八四番)
有限會社 共榮燃料工業所
小名濱町船引場(登記所前)
共榮燃料小名濱出張所

イワシの大漁で沸く

小名濱五年振りの活況

(小名濱支局電話)小名濱町は十六日夕刻から十七日朝にかけて五年振りのイワシの大漁全町沸き返つている小名濱沖約四十キロの海域でイワシの大群を發見した小名濱町スャ魚業部野崎貞行氏所有船壽和丸の四千貫を筆頭に力印魚業部三代義勝氏所有船勝丸は三千貫、儀助魚業部柳内房義氏所有船も共徳丸三千貫を水揚げした、藤太郎魚業部の天榮丸はサンマ六百貫を魚獲し十七日朝小名濱に入港する等小名濱町は五年振りのイワシの大漁に活氣を取り戻し各アグリ船共一齊に出漁する事となりその準備に忙殺されている、なお壽和丸の船頭の話によればイワシ群の情勢その他の條件は五年前のイワシの大漁當時と同様でこの大漁は續くものと見られている、小名濱町に於けるイワシの値段は一貫目二百圓から二百二十圓である

日鑛の闘争委員 强硬態度を示す

日鑛では十六日常任斗争委員會を勞働會館にて午前十時三十分より開催去る十二月二十一日以降賃金問題について連盟兒島理事長と事務接渉を續けて來たがその回答を不滿とし所屬各組合は大昭礦(山田村)従業員四百二十名は十四日實力行使をも含む斗争方針を決定大日本勿來礦従業員千二百名は二十日大會を開く豫定など强硬な態度を示しつゝある狀勢で田畑金光斗争委員長外十名はこの問題を協議二十二日再び團体交渉を行ふ豫定

石城地區教組で人事問題を協議

十五日午前十一時より石城地區教組事務所に於て宮本支部長以下十名が出席常任執行委員會を開催人事問題等に重點をおいて一般情勢を協議午後三時散會した

町村長會の初會議

石城地方町村長會では十六日午前十一時より本年の初會議を開催し同日午後三時より料亭大貞で鈴木平市長外多數の地方有志を招き新年宴會を催した

小名濱通信

小名濱町大字島前町會議員遠藤喜三郎翁(七五)は現職中の昭和二十一年冬公務を帯び出縣、縣廳玄關口に於て足をすべらしたをれたのが原因で爾來草野病院に入院加療一時小康を得て自宅に引籠り加療中であつたが昨近この處寒には打撲傷も再發し歩行は全然不可能となり病床に呻吟を重ねて居ると云ふ狀況を聞きつけた、水野町長、長瀬助役、小野町議、大長老小濱翁は遠藤翁の玉川村合併當時の玉川村議として萬難を排して遂に合併實現の先驅者として尊敬を拂はれ町議となつても政治に治績を殘した功勞者として推稱おかない人材である處から、親しく病床を尋ね安否を見舞ふたので遠藤翁も床上感慨無量に打たれた面持ちにて、談を二三交すと共に熱涙が頰を傳ふるものがあつたのを見る小濱翁は感情家だけにこれ亦翁に對する同情の淚は止めどもなく流れ出でゝは一堂、悲痛な場面と化したことは、病人に對しては相濟まない感はあつても、どうにもならない唯義理一遍の言葉としても、一度昔に返りあの元氣あの闘争心の若返りを發揮して欲しと語る人既に涙下る有樣で聞く遠藤翁はとてもダメだと打ち伏す哀愁は全沈痛に堪へない夫人が氣をつかせて別席で粗茶をと勸められこのふん圍氣から脫するの機會を與へられた事を好機として辭去するの機會を得たがあの元氣では、又々直ちにと云ふてもないが活動家たりし遠藤翁だけに病床數年は相當永かるべきを其の情に同情を持ち一日でも永く長壽を保持し得る樣神佛に祈を捧げ立ち去つたのは夕陽西山にはえる四時半頃であつた

文藝欄

詩

ヨシタロウ

ラアーゲル

有刺鐵線を四方張り巡らせ
角々に防樓が立ち
そこに自動小銃を持つた
兵隊が二十四時
眼を光らしている

籠の中にとぢこめられた
小鳥のやうに自由に翼を擴げることも
出來ない群像

外界より途絶された別世界
ラアーゲル
幾多の人々が
へし折られた翼の痛手に哀愁に滿ち
無表情に体をつぼめ
この中に生活する

春が來て近くの山に緑が增し
秋が來て紅葉が峰を染め
冬が來て防樓に雪が積つても
なんの變化もないラアーゲルの生活者達
いつの日この人達が瞳を輝かして
大空を仰ぐ日があるだろうか

拾い読み

赤井颪がビュウ〱吹く或る日の午後私の家の門口に立つた乞食風の青年才のころ二十一、二才この寒いのに藁草履に苔が生えた樣なきたない素足髪はのび放題で軍服の上衣はボタンがないのかはだけて、肌が見える樣なかつ好でなんでもいゝからめぐんでくれとの事母が同情してサツマを與へると何度も禮を云つてサツマを食べながらこんな話をした、俺は樺太に居つたが終戰直前に只一人で青森の叔父を尋ねて內地にやつて來た、父母は今頃恐らく樺太か或はシベリヤで苦勞しているだろう、俺は流れ〱て磐城迄來たが働く口もなく、こうして毎日ブラ〱してもらつて食つている、夜は其處らへねたりしているが一番良いとこは城山の防空壕だこゝで寢るときは板がチヤント引いてあるし此頃では莚を借して呉れる、寒いときは皆なで薪木を拾つて來たり町で買つて來たりして火を燃せるそのかはり金拾圓也がかゝるとか云々 なる程十圓といえどあなどり難しこの青年の寒を助け一夜の夢をまどろましてくれる事を思いば

希望と努力 (4)

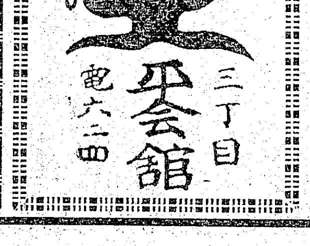
吾々が毎日仕事をして居る間にいくら苦しい事に出逢つても此の苦しみに堪へるのが非常なる効果を生ずるものだといふ事がよく分れば立派に堪へて行かれませう。私は何かの本で胡桃の皮の割るといふ話を讀んだことがあります胡桃の皮といふものは非常に固いから割るのには隨分骨が折れますしかし割つて見ると中には旨い實が入つて居る。それを知つて居るものはどんなに骨が折れても胡桃の皮を割るのに力を惜まないといふのです吾々の毎日の仕事もそれと同じ事であらうと思ひます。それ故に私が前から申した様に自分の今日一日の働きが確かに此の國の土台を立直し此の世の中を救ふために役立つて居るといふ自信をもつて働くことが最も肝要なのであります。譬へば立派な建築物があるとしませう。其の天井も柱も床の間も皆立派であるがそれよりも更に大切なものがあります。それは外ではない土台の石であります。土臺の石は土の中に埋つて此建築を支へて居るこの石は天井や柱のやうに表に現はれては居ませぬ。しかし此の立派な建築は土臺の石の上に立つて居るから安全なのであつて若し此の石がなければ忽ちに傾いてしまひます。世の中の事は全く之と同じ道理で表面に表はれたる立派な人よりも陰に隱れて働いて居る人の力が最も貴いのであります若し自分の仕事に全力を注いで働く人があれば其の周圍に及ぼす所の感化といふものは莫大なものであります。其の人の熱心は其の手の動かし方にもその足の踏張り方にも現はれます。その眼の配り方その顔の向け方にも現はれます。それを見た人は必ずや之が爲に動されて緊張した氣分になります。これが世の中に大きな教訓を與へます。口先ばかりで道を說いても世の中を動す力はありませぬ。(續く) ×

看護婦 助産婦 生徒急募
何時でも入學出來ます
平市南町 平助産婦看護婦學校
校長 實川彌太郎

本場=牛豚肉=自慢
配達迅速 第一綠屋 電539
第二綠屋 電794

精肉
三二三屋
平市田町 電三二三番

17日より19日まで上映中
新東寶の冗談時代劇
女ぎらいのあわて者鬼姫
彌九郎太の戀愛武勇傳
原作 陣出達朗
エノケンの豪傑一代男
(小說俱樂部所載)
キヤスト
榎本健一 山本照子
岡讓二 山本和子
(大映) (新人姉妹)
(同時上映天然色短編漫畫)
平文化

うまい!! 安い!!!
好評のシュウマイ
中華そば
和食=洋食

三丁目
平会館
電六二四

1951年の新春に贈る
第1回100萬圓寶くじ
今年の幸運は先づ寶くじの初當り
100萬圓 14本 10萬圓 70本
以下 八等迄 1枚 30圓
抽せん 1月31日 賣出中
日本勸業銀行平支店

皮膚科 性病科 內科
平市縣社下
矢吹醫院
矢吹大一郎
電話一一九五・一二九五